

式 辞(一部省略)

やわらかな日差しに木々の芽も膨らみ、春の息吹を感じる頃となりました。本日、高根沢町立北高根沢中学校、第七十七回卒業式を挙げるにあたり、ご多用の中、多数のご来賓の皆様のご臨席と、卒業生の保護者の皆様のご列席を賜り、心より感謝いたします。

保護者の皆さま、本日はお子様のご卒業おめでとうございます。十五年という長い歳月にわたり、溢れんばかりの愛情で慈しみ、育ててこられたお子様が今日、このように立派に卒業式を迎える姿を見て、感激もひとしおのこととお喜び申し上げます。誕生したその時から今日まで様々な出来事があったことと存じます。その、一つ一つを乗り越え、克服し、今日の日を迎えられたのではないのでしょうか。皆様のご努力と深い愛情に敬意を表すと共に、本校教育へのご理解・ご支援に感謝しつつ心よりお祝い申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、改めて、ご卒業おめでとうございます。今、卒業生一人一人に卒業証書を手渡しました。誰もがしっかりと受け取る姿は中学校三年間で心身ともに成長した証として感動を覚えずにいられませんでした。

卒業証書を渡し、今、こうして一人一人の顔を拝見していると、忘れられない数々のシーンが思い起こされます。新緑の香り漂う京都・奈良への修学旅行。事前に計画したコースをめぐる二日目の班別行動。宿舎で時間を忘れ、友と夜遅くまで語り合ったことなどたくさんの思い出が蘇ってきます。神算鬼謀 相手に余裕の二文字なしのスローガンのもとに行われた体育祭。昨年度より、半日開催

とし、新たな体育祭の形での開催でしたが、一人一人がクラスの勝利の為に、目を輝かせ、団結し、溢れんばかりの笑顔で競技に取り組んでいる姿が印象的でした。伝統を引き継ぎながらも、時代に合った体育祭を創り上げました。地区総合体育大会、それに続く県大会、関東大会。力の限りを尽くし、全力で競技に臨みました。今年度から、中体連主催における大会の見直しにより、従来行われていた、春季大会がなくなり、通常より早い時期での地区総合体育大会の開催になり、チームや自分のコンディションを合わせることが難しかったと思います。その中でソフトボール部の活躍は素晴らしいものがありました。今回は、阿久津中学校、矢板中学校との合同チームでの参加という難しいチーム編成でしたが、限られた時間での練習で、チームワークを高め、戦術の浸透を図りながら戦い、関東大会出場という輝かしい成績を収めました。勝負には必ず勝ちと負けが存在します。どのチームも勝つことを目標に戦いますが、必ずどこかで負けます。でも、勝敗より大切なことがあると思います。それは、三年間一緒に活動してきた友達存在です。一緒に喜んだり、悔しがったりしながら苦しい練習をしてきたということです。その過程で通常の学習では、得ることのできない様々な体験を学んできたことに自信をもってください。合唱コンクール。最高学年としての自覚をもち、練習に励み、町民ホールで最高のハーモニーを奏でることができました。さすが最高学年でした。一、二年生にはない経験と学級の強い団結力が感じられました。そして、何より、感心させられたのは、普段の学校生活です。学習面では、真剣に授業に臨み、友達と一緒に頑張って課題を解決したり、自己の課題に向

き合ったりして熱心に学習していました。生徒会活動では、様々なアイデアを出し、一、二年生をリードしていました。その一つ一つの頼もしい行動、今でも鮮明に浮かんできます。

卒業にあたり、次の言葉を卒業生に送ります。それは、人生の最も苦しい 嫌な 損な場面を 真っ先に 微笑みを以って担当せよ という言葉です。

この言葉は、校長先生が卒業した大学のモットーで、卒業してから三十八年間、胸に刻んで実践してきた大切な言葉です。皆さんは、これからの生活において、嫌な場面、損な場面、あるいは辛い仕事、苦しい仕事が、時として待ち受けていることもあるでしょう。そんな時は、真っ先にそのような場面を自ら担当し、苦しい顔や嫌な顔を見を見せず、常に笑顔を保ち、絶やさずに行ってほしいと思います。簡単なことではありませんが、実践することで、自分自身を大きく成長させることができます。そして、その先には、心豊かで、実り多い人生が必ず待っていると思います。困難に立ち向かうには、勇気や忍耐が必要です。どんなに苦しくても、笑顔を忘れず、常に微笑みをもって立ち向かっていってください。また、山本有三の路傍の石の一節、にたった一度しかない人生を、本当に生かさなかったら、人間生まれてきたかいがないじゃないかという言葉があります。これから、自分の夢の実現に向けて歩み始める卒業生の皆さん。自分を信じ、努力を惜しまず、自分の夢に向かって邁進していってください。

心身ともに立派に成長された卒業生の皆さん、いよいよ本校を旅立つ時がきました。皆さんのさわやかなあいさつ、明るい笑顔を見ることができなくなるこ

とに、今、寂しさを感じています。しかし、皆さんが更に成長して立派になって、
再び出会えることを楽しみにしています。結びに、卒業生の皆さんの輝かしい未
来と本校の更なる発展を祈念いたしまして、式辞といたします。

令和 六年 三月八日

高根沢町立北高根沢中学校長